

防災

災害に備えて

今回は「防災用品」です。

2 011年3月11日の東日本大震災発生直後、飲料水、水、食料、乾電池、トイレットペーパーなどが店頭から消えました。このことは、多くの人がいかに災害への備えをしていなかったかということをはき彫りにしています。

震 災後、「非常持ち出し品チェックリスト」などを見て、袋の中身を確認した人も多いのではないのでしょうか。そのとき「一覧」をうのみにするのではなく、自分（わが家）に何が必要かということも考えてみてください。また、一般的に飲料水は1人当たり1日3リットル必要だといわれていますが、それだけの量を家族分持って避難すると、他に何も持てなくなり、身動きもとれなくなってしまいます。持っていくのは1～2本にして、残りは「備蓄品」としましょう。生活に必要なものや持ち運べるものの量・重さは1人1人異なります。自分に合ったものを用意しておきましょう。

次 に、東日本大震災の避難生活で役に立ったといわれているものを3点ご紹介します。

- ☐ ラップフィルム
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ 公衆電話用の10円玉

ラップフィルムは、傷口の保護や保温、食事の際に皿に敷くなど、さまざまなことに使うことができます。ウエットティッシュは、水の使用が制限される避難所での毎日の洗顔に欠かせません。公衆電話は、災害時に優先電話として指定され、大きな災害が起こると無料で使用できます。しかし、緑の公衆電話の場合は、先にお金を入れないと電話をかけることができません。他にも、小さなお子さんがいるご家庭では、お子さんの好きな食べ物やおやつなども“あって良かったもの”として挙げられています。

防 災用品に特別なものは要りません。「とりあえず最低限の生活ができる」ようにするために、もう一度ご家庭の防災用品を見直してみてください。

03 市政情報

後期高齢者医療保険料率が変わります
児童手当の現況届をお忘れなく
福祉医療費助成制度
水道量水器の取り替えにご協力を
病後児保育が受けられるようになります

05 情報ひろば／消費生活相談／相談窓口

08 読書の小径

09 ぎふ清流国体／あのとときときは

10 ほほえみだより

11 健康ガイド

12 ときをつなぐもの／プラザイベントガイド

人口と世帯数〈4月末日現在〉（ ）内は前月比

総人口 61,763人(+27人)
男 29,863人(+30人) 女 31,900人(-3人)
世帯数 23,482戸(+55戸)

火災と救急出動〈4月〉（ ）内は1月からの累計

火災発生 2件(10件)
救急出動 175回(810回)
消すまでは 出ない行かない 離れない

交通事故〈4月〉（ ）内は1月からの累計

人身事故 24件(96件)
負傷者 33人(119人)
死亡者 0人(1人)
あぶないよ けいたいでんわと にらめっこ

今月の納税

軽自動車税

納期限 5月31日(木)

残高不足で口座振替・自動払込みができなかった場合の再振り替えは、6月15日(金)です。

☎ 税務課納税係 (内線180・181)



防災無線が聞き取りにくい…
→メール配信サービスをご利用
ください(要登録)

電話でも確認できます
テレホンサービス ☎ 7713